HAWAI'I TOURISM
JAPAN
ハワイ州観光局

2019 年 10 月 11 日
ハワイ州観光局

ハワイ州観光局、ツーリズム Expo ジャパン 2019 出展
「責任ある観光」をコンセプトに、高校生が制作した絶滅危惧種カメのゴミアートを展示
ハワイ旅行を疑似体験できる MX4D®も登場

ハワイ州観光局（所在地：東京都千代田区　日本支局長：ミツエ・ヴァーレイ）は、ツーリズム Expo ジャパン 2019（開催日：10 月 24 日（木）～27 日（日）会場：インテックス大阪）に、「責任ある観光」をコンセプトとしたパビリオンを出展します。

ハワイ州観光局パビリオンのイメージ

MX4D®でハワイ疑似旅行

近年、世界の課題解決を目指す持続可能な開発目標（SDGs）は、旅行業界での取り組みも広がり、ハワイ州でも、ハワイの自然環境保護を中心に、2030 年までに Aloha+Challenge[i]として 6 セグメントで目標達成に向けた取り組みを行なっています。そこで、本パビリオンでは、ハワイ旅行前に「責任ある観光客」になるためのマナーを学習してもらうコンテンツを用意します。

パビリオンの目玉は、川清掃で拾ったゴミから、ハワイで絶滅危惧種と指定されているウミガメを作るゴミアートの展示です。これは、京都府にある立命館宇治高等学校の生徒が、10 月 6 日京都府京都市の鴨川で清掃したゴミからアート作品を制作します。
これに先駆けて立命館宇治高等学校の生徒 2 名には、ハワイ島南部のカミロポイント[ii]にて、ニュージーランドとオーストラリアの他校の生徒と共に、2019 年 9 月 21 日の国際ビーチクリーンアップデーに合わせたビーチ清掃イベントに参加いただきました。

高校生が制作したウミガメ作品には、3 メートル以上離れて観察を行うことを啓発するため、3 メートルの距離感を体感してもらえるようにも工夫。さらに、海洋動物（ウミガメ、ハワイアンモンクシールなど）の保護活動をハワイで行っている NPO 機関 Hawaii Marine Animal Response への寄付も来場者から募る予定です。

レスポンシブルツーリズム（責任ある観光）を目玉としたパビリオンでは、マナー学習のほかにも、MX4D®を活用し、ハワイ島、マウイ島の空、海、陸で体験できるヘリコプター、シュノーケリング、ジップラインなどのアクティビティを疑似体験できるアトラクションも用意しています。

ほかにも、JCB、アドベンチャーツーリズム 10 社[iii]とハワイ州観光局の 3 つのエリアをつなぐスタンプラリーを実施します。スタンプを 3 つ集めるとオリジナルグッズを参加者全員にプレゼントします。

＜参考＞

立命館宇治高等学校の生徒がハワイ島南部カミロポイントで参加したビーチ清掃の様子（2019 年 9 月）

立命館宇治高等学校の生徒が京都府京都市の鴨川にて実施した川での清掃の様子（2019 年 10 月）

MX4D®で体験できる映像イメージ

---

i Aloha+Challenge とは、ハワイ州が経済、社会、環境の側面から持続可能な社会となるべく目標を掲げ、2030 年までに Aloha+Challenge として 6 セグメント（クリーンエネルギーへの転換、自然資源の管理、持続可能なスマートコミュニティの形成、廃棄物の削減、グリーンジョブ・環境教育、地元産の食糧供給）で目標達成に向けた取り組みです

ii ハワイは、太平洋のゴミベルトと言われ、環流で漂流物が多いエリアであり、ハワイ島のカミロポイントは、日本からプラスティックや漁業系などのゴミも漂流している場所です。

iii アドベンチャーツーリズム 10 社(https://www.allhawaii.jp/htjnews/3895/)は、アンドユークリエーションズ/ドルフィン&ユー、ウェットアンド ワイルド ハワイ、クアロア・ランチ・ハワイ、クライムワークス・ケアナファーム、シーライフパークハワイ、戦艦ミズーリ記念館、ブルー・ハワイアン・ヘリコプター、ポリネシア・カルチャー・センター、ロバーツ　ハワイ、ワイキキトロリー（五十音順）